



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社巴川製紙所 上場取引所 東
 コード番号 3878 URL http://www.tomoegawa.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山口 正明 TEL 054-256-4319
 CFO経営戦略本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,644	16.2	720	—	654	—	448	—
29年3月期第2四半期	15,188	△10.5	△65	—	△144	—	△371	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 824百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △869百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.80	—
29年3月期第2四半期	△7.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	38,539	13,821	31.7	239.77
29年3月期	38,275	13,260	30.6	230.06

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,221百万円 29年3月期 11,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	8.1	1,100	27.3	1,000	114.9	600	137.3	11.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	51,947,031株	29年3月期	51,947,031株
30年3月期2Q	975,519株	29年3月期	973,359株
30年3月期2Q	50,973,012株	29年3月期2Q	51,001,704株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、引き続き世界経済が堅調に推移する中で企業業績の回復が進み、雇用・所得環境の改善に支えられた個人消費も堅調に推移するなど、緩やかながらも回復基調が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、ワールドワイドに展開するトナー事業で販売数量増加や新製品の貢献があり、活況を呈する半導体市場向け電子部品関連製品も好調に推移いたしました。

また、ディスプレイ市場向け光学フィルム関連事業も、引き続き対前年同期比で大幅な受注増となりました。

一方、市場縮小が進む既存製品を抱える機能紙事業におきましても、新製品も含めた拡販努力により前年同期レベルの売上高を維持いたしました。

これに当期より中国事業について事業管理と連結決算の精度向上のために3月末決算に統一する影響814百万円が加わり、売上高は前年同期と比べて2,456百万円増収の17,644百万円（前年同期比16.2%増、中国事業の影響を除いても10.8%増）となりました。

利益面では、売上増加及び製品構成の改善に加えて、使用電力の低減や各種コストダウン施策の効果が計画通りに発現した他、好調な受注に対応すべく生産性向上も鋭意進めた結果、営業利益は720百万円となり、前年同期の65百万円の損失から大幅に改善、黒字回復を実現いたしました。

経常利益は、営業利益の回復に加え、前年同期に為替レートが一時大きく円高に動いたために拡大した為替差損87百万円が大幅に減少したことなどから、前年同期の144百万円の損失から654百万円の黒字に回復、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期の371百万円の損失から黒字の448百万円へと、業績は大きく改善いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①プラスチック材料加工事業

プラスチック材料加工事業では、ワールドワイドに展開するトナー事業で販売数量増加や新製品の貢献があり、活況を呈する半導体市場向け電子部品関連製品も好調に推移いたしました。また、ディスプレイ市場向け光学フィルム関連事業も、引き続き対前年同期比で大幅な受注増となりました。

さらに上述の通り、中国事業について事業管理と連結決算の精度向上のために当期より3月末決算に統一する影響が加わり、また、利益面では、売上増加及び製品構成の改善に加えて、使用電力の低減や各種コストダウン施策の効果が計画通りに発現した他、好調な受注に対応すべく生産性向上も鋭意進めてまいりました。

この結果、売上高は11,768百万円（対前年同期比26.7%増）となり、セグメント（営業）利益は788百万円と対前年同期比で767百万円の増益となりました。

②製紙・塗工紙関連事業

製紙・塗工紙関連事業では、市場縮小が進む既存製品を抱える中、新製品も含めた拡販努力により前年同期レベルの売上高を維持いたしました。また、利益面では、使用電力の低減や各種コストダウン施策の効果が計画通りに発現いたしました。

この結果、売上高は5,840百万円（対前年同期比0.4%減）、セグメント（営業）損失は104百万円と、対前年同期比で4百万円の改善となりました。

（参考） セグメントの概況

（単位：百万円 比率：%）

	売上高			セグメント利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
プラスチック材料加工事業	9,288	11,768	26.7	21	788	—
製紙・塗工紙関連事業	5,862	5,840	△0.4	△108	△104	—
その他	36	35	△3.8	9	26	166.5
計	15,188	17,644	16.2	△77	710	—
調整額	—	—	—	11	9	—
四半期連結損益及び 包括利益計算書計上額	15,188	17,644	16.2	△65	720	—

（注）セグメント利益は営業利益に相当します。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、38,539百万円で、前連結会計年度末に比べ264百万円の増加となりました。流動資産は20,288百万円で、前連結会計年度末に比べ283百万円の増加となり、その主な要因は受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。固定資産は18,251百万円で、前連結会計年度末に比べ19百万円の減少となり、その主な要因は償却による有形固定資産の減少があったことなどによるものです。

負債合計は、24,717百万円で、前連結会計年度末に比べ297百万円の減少となりました。流動負債は16,700百万円で、前連結会計年度末に比べ1,277百万円の増加となり、その主な要因は短期借入金や1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによるものです。固定負債は8,017百万円で、前連結会計年度末に比べ1,574百万円の減少となり、その主な要因は返済による長期借入金が減少したことなどによるものです。なお、当第2四半期連結会計期間末における有利子負債残高は12,277百万円と、前連結会計年度末に比べ297百万円の減少となりました。

また、純資産は、13,821百万円で、前連結会計年度末に比べ561百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、2,675百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益643百万円に、売上債権が293百万円増加したものの、減価償却費768百万円の計上があったことなどから1,176百万円の増加となり、前年同期と比べ781百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が469百万円あったことなどから509百万円の減少となり、前年同期と比べ186百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額が646百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が1,090百万円、配当金の支払額が256百万円あったことなどから662百万円の減少となり、前年同期と比べ1,035百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期においても受注環境の足取りの強さが継続し、8月に上方修正した上半期の業績予想をさらに上回ることが確実となったことから、再度の業績予想の上方修正を10月25日に行いました。

当下半期については、ディスプレイ関連事業において、ライフサイクルが短い製品の需給調整が予想され、また原材料調達コストの上昇や設備修繕の実施などの費用増加も見込まれるものの、電子材料事業やトナー事業における販売環境は概ね堅調に推移する見通しであります。このような事業環境の見通しと上半期の実績を踏まえて、通期業績予想については、売上高は受注内容や製品構成の変化を考慮した上でこれまで通り35,000百万円に据え置くものの、営業利益を1,100百万円、経常利益を1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を600百万円とする上方修正を、10月25日に併せて行いました。

なお、1株当たり5円の期末配当予定については、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,720	2,730
受取手形及び売掛金	7,145	7,467
製品	6,449	6,476
仕掛品	58	65
原材料及び貯蔵品	2,106	2,015
その他	1,530	1,539
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	20,004	20,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,377	5,172
機械装置及び運搬具（純額）	4,080	3,962
その他（純額）	4,516	4,613
有形固定資産合計	13,974	13,749
無形固定資産	265	255
投資その他の資産		
その他	4,051	4,268
貸倒引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	4,031	4,245
固定資産合計	18,270	18,251
資産合計	38,275	38,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,839	6,032
短期借入金	4,377	5,050
1年内返済予定の長期借入金	2,269	2,869
未払法人税等	166	183
賞与引当金	381	384
その他	2,389	2,180
流動負債合計	15,422	16,700
固定負債		
長期借入金	5,928	4,357
退職給付に係る負債	2,309	2,308
役員退職慰労引当金	180	197
その他	1,174	1,153
固定負債合計	9,592	8,017
負債合計	25,015	24,717

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,894	2,894
資本剰余金	3,582	3,582
利益剰余金	4,877	5,068
自己株式	△330	△331
株主資本合計	11,023	11,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	364	552
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△44	△21
退職給付に係る調整累計額	384	476
その他の包括利益累計額合計	703	1,006
非支配株主持分	1,533	1,600
純資産合計	13,260	13,821
負債純資産合計	38,275	38,539

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	15,188	17,644
売上原価	12,818	14,214
売上総利益	2,369	3,429
販売費及び一般管理費	2,435	2,709
営業利益又は営業損失（△）	△65	720
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	24	25
受取保険金	24	11
持分法による投資利益	50	34
その他	32	33
営業外収益合計	133	107
営業外費用		
支払利息	97	97
為替差損	87	15
その他	27	60
営業外費用合計	212	173
経常利益又は経常損失（△）	△144	654
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	15	15
関係会社生産拠点再構築費用	84	—
その他	0	—
特別損失合計	100	15
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△244	643
法人税、住民税及び事業税	86	212
法人税等調整額	△11	△76
法人税等合計	75	136
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△319	507
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△371	448
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	188
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	△700	31
退職給付に係る調整額	132	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	4
その他の包括利益合計	△550	317
四半期包括利益	△869	824
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△807	752
非支配株主に係る四半期包括利益	△62	72

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△244	643
減価償却費	763	768
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14	17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	284	130
受取利息及び受取配当金	△26	△27
支払利息	97	97
売上債権の増減額(△は増加)	244	△293
たな卸資産の増減額(△は増加)	△557	121
仕入債務の増減額(△は減少)	△30	190
その他	5	△252
小計	521	1,396
利息及び配当金の受取額	28	27
利息の支払額	△105	△100
法人税等の支払額	△71	△162
法人税等の還付額	23	14
その他	△2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	394	1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△44
定期預金の払戻による収入	39	44
有形固定資産の取得による支出	△672	△469
その他	△23	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△695	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	898	646
長期借入れによる収入	845	120
長期借入金の返済による支出	△1,062	△1,090
配当金の支払額	△256	△256
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△48	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	372	△662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△188	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116	9
現金及び現金同等物の期首残高	3,104	2,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,987	2,675

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結子会社の事業年度に関する変更

従来、決算日が12月31日であった中国関連事業の連結子会社5社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりました。第1四半期連結会計期間より、連結財務情報のより適正な開示を図るため、TOMOEGAWA HONG KONG CO., LTD.、㈱巴川ホールディングス惠州及び日彩控股有限公司の3社は決算日を3月31日に変更し、また、巴川影像科技(惠州)有限公司及び日彩影像科技(九江)有限公司の2社については連結決算日に仮決算を行う方法へ変更しております。

これらの変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は平成29年1月1日から平成29年9月30日までの9ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通じて調整しております。

なお、当該子会社の平成29年1月1日から平成29年3月31日までの売上高は814百万円、営業利益は23百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円であります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,288	5,862	15,151	36	15,188	—	15,188
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	86	86	402	488	△488	—
計	9,288	5,949	15,237	438	15,676	△488	15,188
セグメント利益 又は損失（△）	21	△108	△87	9	△77	11	△65

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額11百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,768	5,840	17,609	35	17,644	—	17,644
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	87	87	417	505	△505	—
計	11,768	5,928	17,696	452	18,149	△505	17,644
セグメント利益 又は損失（△）	788	△104	684	26	710	9	720

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額9百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。